

令和6年度 第2回 白檀中学校運営協議会会議録

会場・開催日時	出席者
白檀中学校校長室 12月16日 13時30分 ～ 15時00分	山本 邦彦 梶井 亨 工藤 英俊 小橋 勲 吉川 祐一 小田 勝通 芦田 律子 小廣 善哉 西村 拓司 井上 博 合計 10名
	傍聴者 1名

議題及び主な意見
案件① 学校の様子・活動報告（学校長） ・学校生活の様子（白檀中学校ホームページより） ・リーディング DX スクール事業の推進状況（ホームページより） 配布資料 ○学校だより『厳のしらかし』 No.5～No.12 ○PTA 広報誌
案件② 協議 テーマ 『 地域とともに進める Well-being な学校づくり 』 （1）全国学力学習状況調査からの考察（プレゼンテーション：校長） 【生徒の実態と課題について、調査の質問紙を分析して校長から報告】 ○学校は楽しく・友達関係も良好であるという回答が多い。（約90％が肯定的な回答） ○自分で課題を考えたり、自分から課題解決に向けて工夫して考えたり、また、自分の考えを自分のことばで伝えたりする力を育成していきたい。 ○本校の授業での ICT の活用頻度は高い。その強みを生かして、主体的で協働的、深い学びにつながる授業を進めていきたい。 ○非認知能力の育成（自尊感情を育てる）を学力向上の根幹に据えて取り組んでいきたい。 （2）白檀中学校運営協議会としての令和7年度からのスローガンを協議 次のような意見が出された。 ○現在、白檀町は、1つの小学校、1つの中学校である。学校のあゆみと町づくりのあゆみが並行して進んできたこともあり、地域の協力や結びつきがとても強いので、その強みを生かす。 ○学校の登下校の様子や子ども達の活躍している様子も、地域はとても見守っている。 ○ボランティアさんがとても熱心に学校の活動に関わってくれている。 ○連合自治会が作成した「声かけ 気かけ 笑顔かけ」の看板の言葉のように、挨拶を交わす

ことを学校と地域が大切にしていけるような文言をいれたらどうか。

次回の第3回学校運営協議会で、再度、スローガンを決めることとした。今日の時点でのスローガンは次の通りである。

「 笑顔があふれ 幸せひろがる つながりの和 」 (案)

案件③ 3学期及び新年度4月の予定(教頭より)

その他 次年度の小中学校の学校運営協議会の組織編制について

来年度は、白檀小学校も学校運営協議会を発足することになるため、小中合同で運営協議会を組織として作ることが実現可能かどうかという提案を校長から行った。しかし、支援に関わっている関係者や所属グループも異なり、学校行事の時期や内容も違いが大きいので、小中合同の組織にするのは難しいという意見が多かった。もしも、共通理解して進めたいような事案があれば、その時に臨時で小中合同開催をするのが得策ということになった。

※次回の第3回学校運営協議会は、3月3日(月) 10:00~白檀中学校で実施